

## 山梨県内における職場での熱中症による労働災害発生状況

### 1 令和2年の職場における熱中症による労働災害発生状況

山梨県内の令和2年の職場での熱中症による被災労働者は39人で、前年（令和元年）の58人より19人減少した。このうち休業4日以上 of 被災労働者は3人で、前年より5人の減少であった。

発生件数の内訳を業種別にみると、製造業が9人と最も多く、続いて建設業が8人、商業が6人、警備業が5人などとなっている。また被災労働者の年齢を見ると、令和2年は30歳未満が4割強を占めている。

### 2 過去10年間（平成23年以降）の熱中症による労働災害発生状況

平成25年から平成29年までは毎年30人前後で推移していたが、平成30年に50人を超え、令和元年は過去最多の58人となった。令和2年は再び30人台に減少したが、これは熱中症予防への意識の高まりや、新型コロナウイルス感染防止のための出勤抑制等も一因ではないかと考えられる。

業種別では、例年建設業で最も多く発生していたが、近年は製造業・商業が増加している。

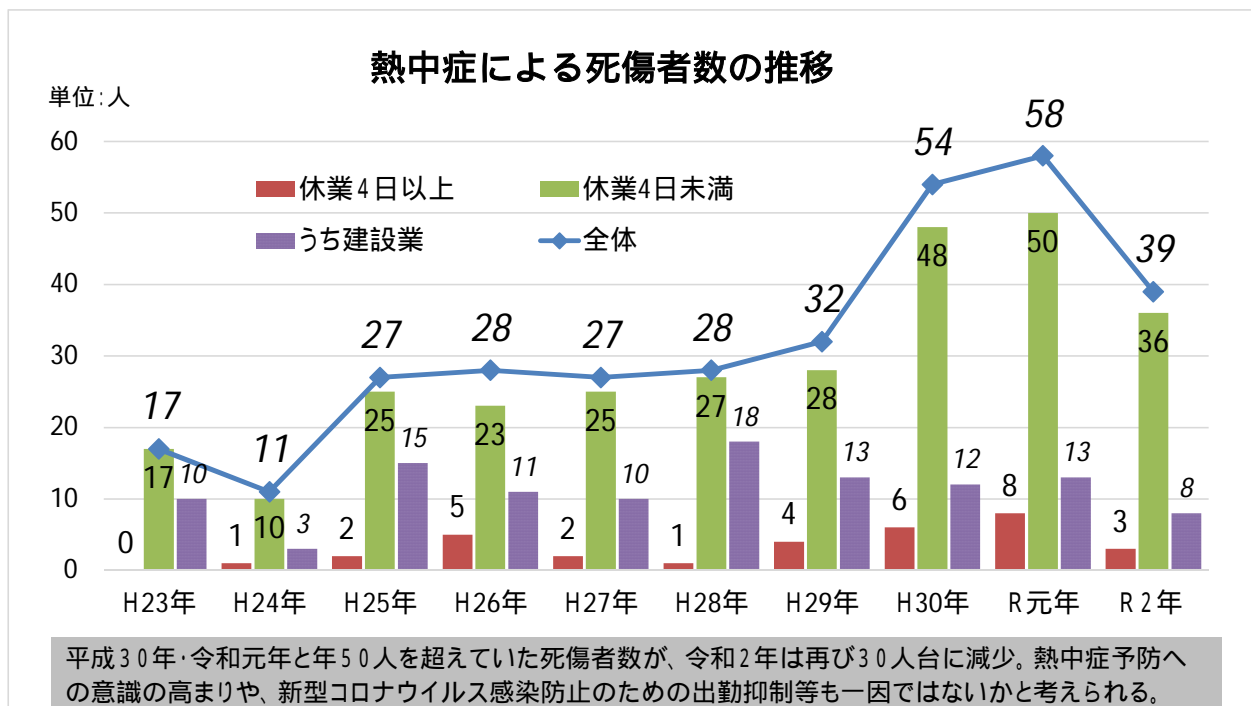
月別発生状況では、7月と8月を中心に発生しているが、初夏の5月にも発生している。

また時間帯別発生件数では、11時台と14時台をピークに発生しているが、11時台の発生が突出している。

（単位：人）

年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	計 (年平均)
被災労働者数	17	11	27	28	27	28	32	54	58	39	321 (32.1)
休業4日以上	0	1	2	5	2	1	4	6	8	3	32 (3.2)
休業4日未満	17	10	25	23	25	27	28	48	50	36	289 (28.9)
うち建設業	10	3	15	11	10	18	13	12	13	8	113 (11.3)

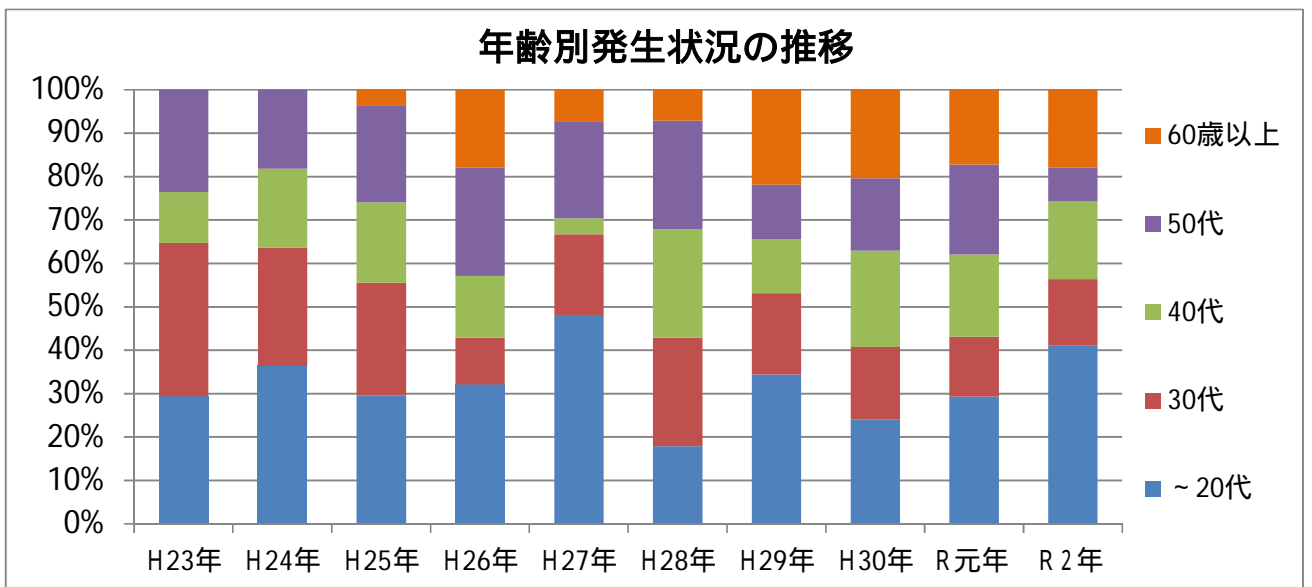
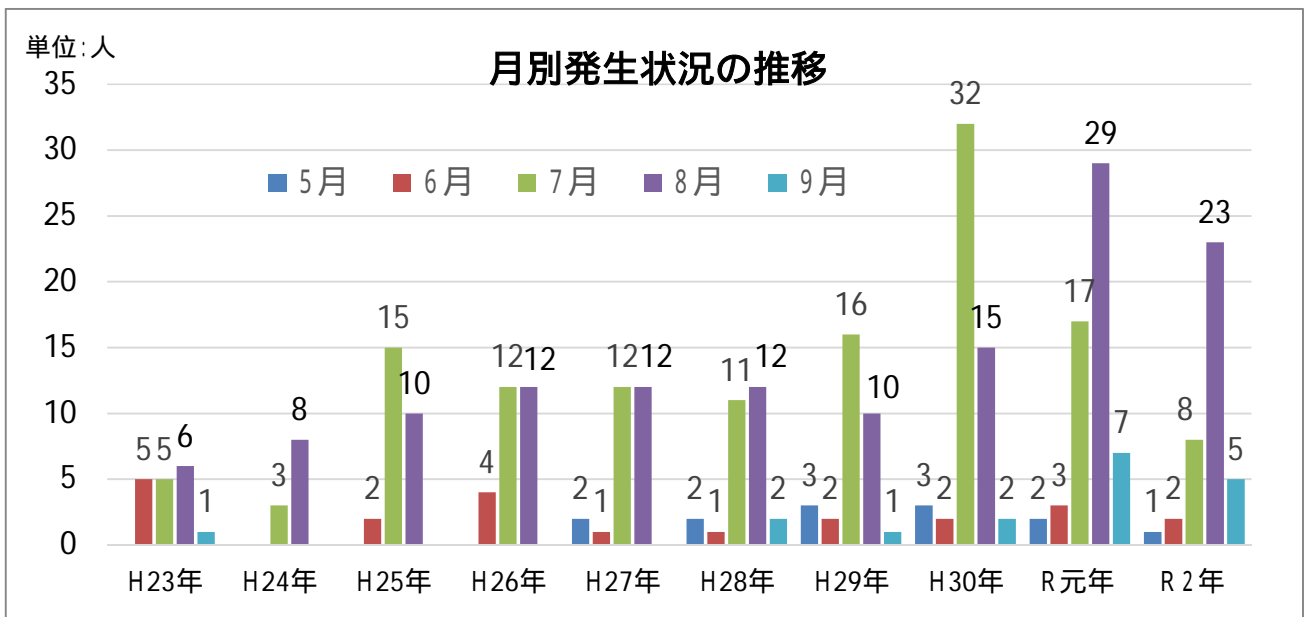
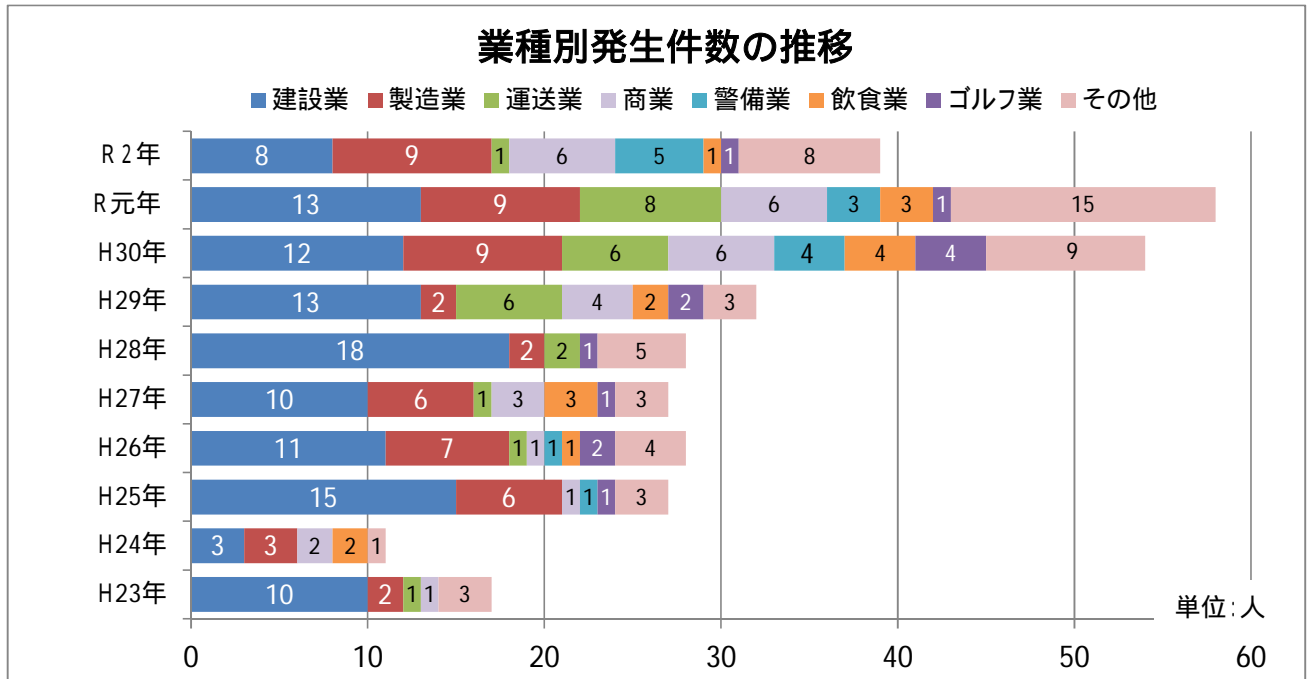
[ ]内は死亡者数で内数



### 3 平成23年から令和2年における熱中症による労働災害発生状況グラフ（別図）

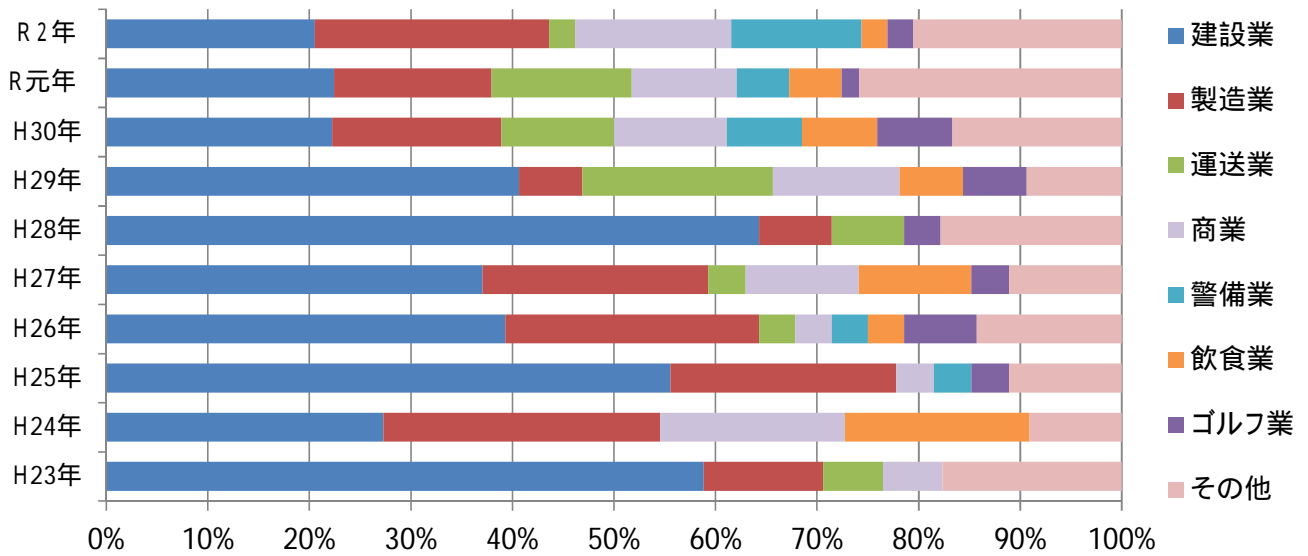
### 4 令和2年の熱中症による労働災害等一覧（別表）

### 平成23～令和2年 熱中症による労働災害発生状況グラフ(山梨労働局管内)

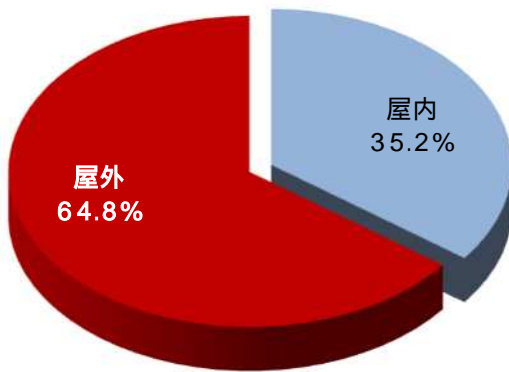


## 業種別発生件数の推移

近年は建設業の比率が減少し、製造業・商業が増加している。

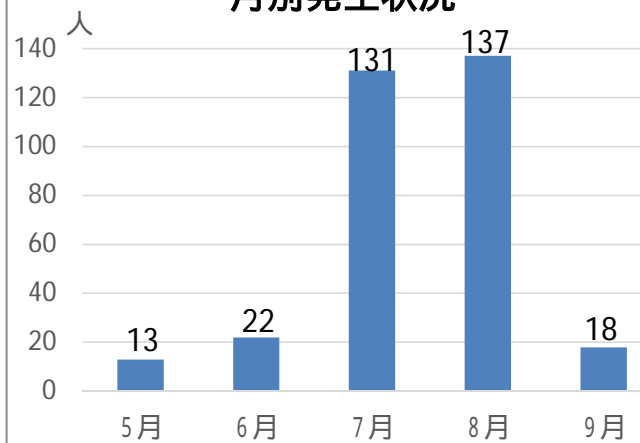


## 屋内・屋外別発生状況



屋外作業が約65%を占めているが、屋内作業においても約35%発生している。

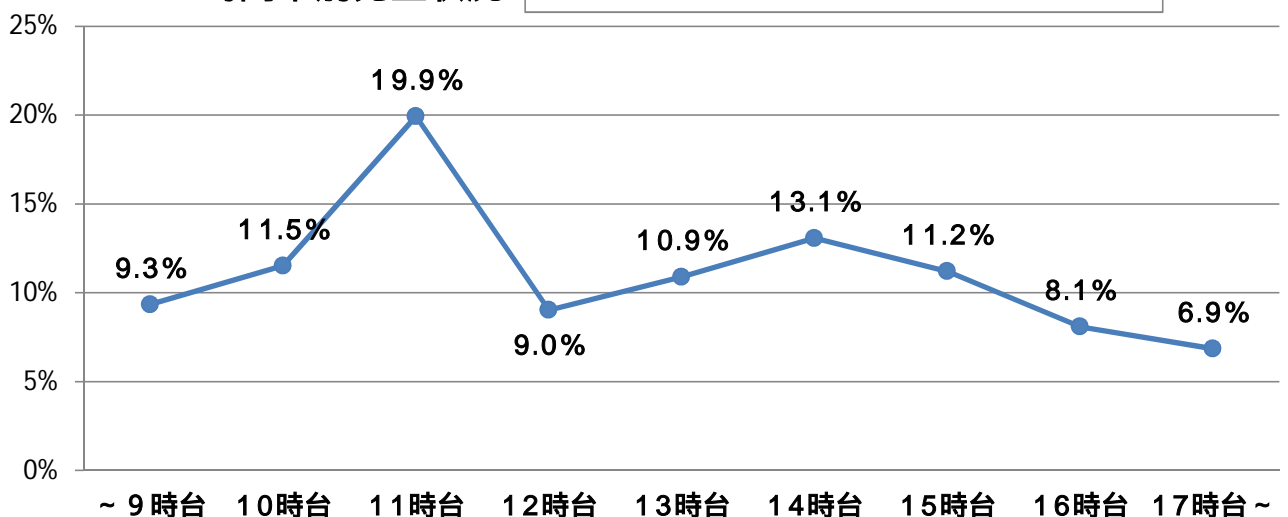
## 月別発生状況



7月・8月を中心に発生しているが、初夏の5月にも発生している。

## 時間帯別発生状況

11時台と14時台をピークに発生している。



## 令和2年 山梨県内における熱中症の発生一覧

	発生日	発生時間	気温 (WBGT値)	業種	場所・ 作業内容等	年齢	性別	発生概要	審別
1	令和2年5月11日	14:00	28.6度 (23-注意)	運送業	屋外	50歳台	男	客先で荷物の積み込み作業を行っていたところ、休憩中に手足がしびれ始めたため救急搬送されたもの。	甲府
2	令和2年6月17日	12:00	27.8度 (23-注意)	製造業 (機械器具)	屋内	60歳台	男	長袖の作業服を着て屋内で金属加工(溶接)作業を行っていたところ、体調不良となり午後から早退し病院を受診。	都留
3	令和2年6月26日	15:00	27.8 (27-警戒)	建設業	屋外	20歳台	男	アスベストの飛散防止用シート内で作業をしていたところ、吐き気、めまいがしたため横になって休憩していたが、回復しないため病院を受診したものの。	甲府
4	令和2年7月2日	12:30	27.2 (23-注意)	製造業 (食料品)	屋内	20歳台	女	空調設備のある生産ラインで管理業務を行っていたところ、吐き気、めまい、手足のしびれを感じたため休憩していたが、回復しないため病院を受診したものの。	甲府
5	令和2年7月11日	16:00	28.9 (28-厳重警戒)	製造業 (食料品)	屋外(屋根付き)	40歳台	男	天井に冷却用噴霧器が設置された屋根付きの屋外作業場で、鶏の選別作業を行っていたところ、腹痛、嘔吐、下痢、悪寒等の症状が現れたため病院を受診したものの。	甲府
6	令和2年7月19日	13:30	28.3 (24-注意)	その他(農業)	屋外	20歳台	男	畑で農作業を行っていたところ、手の痙攣等の症状が現れたため休憩していたが、回復しないため病院へ搬送されたもの。	甲府
7	令和2年7月21日	12:00	31.1 (27-警戒)	その他(鉄道)	屋外	10歳台	女	駅構内で除草作業を行っていたところ、気分が悪くなったため病院を受診したものの。	甲府
8	令和2年7月21日	14:00	29.9 (26-警戒)	建設業	屋内 (トンネル内作業)	30歳台	男	トンネル内で、コンクリート打設のため生コン車の誘導等を行っていたところ、頭痛等の症状が現れたため休憩していたが、回復しないため病院へ搬送されたもの。	鯉沢
9	令和2年7月21日	16:00	29.6 (27-警戒)	商業	屋外	20歳台	男	商品の配達中、軽トラックの荷台で仕分け作業を行っていたところ手に力が入らなくなったため休憩していたが、次第に全身が脱力したため病院を受診したものの。	甲府
10	令和2年7月22日	11:00	29.9 (26-警戒)	製造業 (輸送用機械)	屋内	30歳台	男	機械の保全作業のため、冷房の効いた事務所と工場の間を冷房のない通路を通過して往來していたところ、ふらつき等の症状が現れたため病院を受診したものの。	甲府
11	令和2年7月22日	16:00	31.9 (28-厳重警戒)	建設業	屋外 (現場監督)	20歳台	男	空調服を着用して直射日光が当たる場所でコンクリート打設の立合いをしていたところ、午後になって倦怠感を感じ、その後頭痛も発症したため病院を受診したものの。	甲府
12	令和2年8月5日	14:00	31.3 (26-警戒)	その他(鉄道)	屋外	20歳台	男	駅構内で枕木調査を行っていたところ、午後から体調が悪くなり病院へ搬送されたもの。	甲府
13	令和2年8月6日	15:00	32.1 (27-警戒)	警備業	屋外(警備員)	40歳台	男	道路工事現場で交通誘導作業を行っていたところ、午後3時頃に体調が悪くなり、吐き気、手足のしびれを感じたため病院を受診したものの。	甲府
14	令和2年8月6日	16:00	32.2 (28-厳重警戒)	商業	屋外	30歳台	男	リース用重機の部品交換中、頭痛、痙攣、嘔吐の症状が出てきたため休憩していたが、回復しないため救急搬送されたもの。	甲府
15	令和2年8月10日	9:30	26.7 (24-注意)	その他(旅館業)	屋外	20歳台	男	屋外工作物の解体作業中、めまい、吐き気、手足の痺れ等を訴えたため木陰で休憩させたが、回復しないため救急搬送されたもの。	甲府
16	令和2年8月11日	9:00	29.9 (27-警戒)	製造業 (食料品)	屋外	60歳台	男	フォークリフトを使った運搬作業中、立ちくらみ、めまい等を感じたため水分を補給し休憩していたが、回復しないため病院を受診したものの。	甲府
17	令和2年8月11日	13:00	34.4 (29-厳重警戒)	飲食業	屋内(調理・接客)	30歳台	女	とんかつ店の厨房内(空調設備あり)で調理中、頭痛、ふらつき等を感じたため病院を受診したものの。	甲府
18	令和2年8月11日	13:00	33.4 (28-厳重警戒)	警備業	屋外(警備員)	50歳台	男	工事現場で車両誘導作業を行っていたところ、体調が悪化したため早退し社員寮で休んでいたが、手足の痺れ等の症状が出てきたため救急搬送されたもの。	甲府
19	令和2年8月11日	16:00	35.6 (33-危険)	建設業	屋外	30歳台	男	貯水池のバックホウ船のデッキで作業を行っていたところ、体調不良を訴えたためクーラーのある休憩室で休息。その後作業に戻ったが作業終了時に寒気を感じ病院を受診。	都留
20	令和2年8月11日	17:00	34.6 (30-厳重警戒)	製造業 (その他)	屋内	40歳台	男	空調設備の無い屋内作業場で塗装作業中、その場に崩れ落ち救急搬送されたもの。	甲府
21	令和2年8月12日	11:00	34.5 (30-厳重警戒)	警備業	屋外(警備員)	60歳台	男	冷却ファン付き上着を着用して道路上で交通誘導作業を行っていたところ、立ち眩みを感じ病院へ搬送されたもの。	甲府
22	令和2年8月17日	10:00	30.9 (26-警戒)	製造業 (食料品)	屋内	20歳台	女	熱がこもりやすい工場内で、袖口が絞られた作業着にフード、マスクを着用して機械を洗浄していたところ、めまい、吐き気を感じたため病院を受診したものの。	都留
23	令和2年8月17日	12:30	35.5 (29-厳重警戒)	警備業	屋外(警備員)	70歳台	男	道路上で交通誘導作業を行っていたところ、具合が悪くなり救急搬送されたもの。	甲府
24	令和2年8月17日	15:00	36.9 (31-危険)	警備業	屋外(警備員)	50歳台	男	工事現場で交通誘導作業を行っていたところ、意識が朦朧として病院へ搬送されたもの。	甲府
25	令和2年8月17日	16:00	32.6 (29-厳重警戒)	商業	屋外	30歳台	男	水分補給や短時間休憩をはさみながら屋外で機械の点検整備を行っていたところ、めまいと体がつる症状が出たため病院を受診したものの。	都留
26	令和2年8月18日	9:00	29.7 (27-警戒)	その他(採石業)	屋内	20歳台	男	冷房の無い休憩室で日報の整理をしていたところ、気分が悪くなり嘔吐したため病院を受診したものの。	都留
27	令和2年8月20日	10:00	31.7 (28-厳重警戒)	その他(鉄道)	屋外(テント内)	10歳台	男	資材テント内で資材のピッキング作業中、頭痛とめまいを感じたため休憩していたが、回復しないため病院を受診したものの。	甲府

28	令和2年8月21日	14:00	37.6 (30-嚴重警戒)	その他(清掃業)	屋内	40歳台	女	建物内の階段、廊下(空調設備無し)を清掃中、具合が悪くなったため水分を補給し休憩していたが、回復しないため病院を受診したもの。	甲府
29	令和2年8月23日	7:00	22.6 (24-注意)	ゴルフ業	屋外	20歳台	男	玄関横のバッグ置き場前でバッグ受け業務を行っていたところ、立ちくらみ、両腕痙攣等の症状が出たため救急搬送されたもの。	都留
30	令和2年8月27日	13:00	28.2 (27-警戒)	建設業	屋外	10歳台	男	炎天下でのり面作業をしていたところ、体調不良となり病院を受診したもの。	都留
31	令和2年8月30日	14:00	36.3 (30-嚴重警戒)	商業	屋外	10歳台	女	屋根のある屋外給油所で接客等行っていたところ、腹痛と吐き気を感じ病院へ搬送されたもの。	甲府
32	令和2年9月2日	12:00	31.4 (27-警戒)	商業	屋外	10歳台	女	ガソリンスタンドで接客等のため走り回っていたところ、気分が悪くなり救急搬送されたもの。	甲府
33	令和2年9月4日	8:00	24.8 (24-注意)	商業	屋内	60歳台	男	冷房のある厨房外通路で片付け等を行っていたところ、めまい、嘔吐の症状が出て意識がもうろうとしたため救急搬送されたもの。	都留
34	令和2年9月5日	11:00	32.6 (28-嚴重警戒)	建設業	屋外	10歳台	男	工事現場で測量作業中、めまい、寒気、ふらつき等の症状が出てきたため病院を受診したもの。	甲府
35	令和2年9月8日	13:00	31.5 (27-警戒)	製造業 (食料品)	屋内	40歳台	女	マフィンの焼成ライン(空調設備あり)で作業中、具合が悪くなり救急搬送されたもの。	甲府
36	令和2年9月17日	13:00	28.9 (25-警戒)	その他(保険業)	屋外	40歳台	男	日陰の無い場所で水分補給や休憩を取りながら草刈り・枝切り作業を行っていたところ、体調が悪くなり動けなくなったため病院を受診。	甲府

(注) 気温(参考)については、発生箇所地域(時間)における気象庁の統計情報による(室温を除く)。

WBGT値(暑さ指数)は、日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」による指数で、警戒等の分類は日常生活上での基準であり、労働の場ではさらに大きくなると思われる。

#### 令和2年 山梨県内における熱中症の発生一覧(休業4日以上)

	発生日	発生時間	気温 (WBGT値)	業種	場所・ 作業内容等	年齢	性別	発生概要	署別
1	令和2年8月10日	11:00	31.9 (27-警戒)	製造業 (食料品)	屋内	40歳台	女	火を炊いている釜の前(空調設備あり)で作業中、体調不良を訴え休憩していたが、意識障害と体の震え等の症状が出てきたため救急搬送されたもの。	甲府
2	令和2年8月18日	9:30	30.4 (27-警戒)	建設業	屋外	60歳台	男	直射日光が当たる資材置き場で荷造り作業中、多量に発汗していることに気付いた上司が休憩させたが、回復しないため帰宅を指示。帰宅後、手足の痙攣により救急搬送されたもの。	甲府
3	令和2年8月20日	10:00	31.4 (28-嚴重警戒)	建設業	屋外	70歳台	男	直射日光が当たる資材置き場で荷造り作業中、脱水感と吐き気を感じたため病院を受診したもの。	甲府

(注) 気温(参考)については、発生箇所地域(時間)における気象庁の統計情報による。

WBGT値(暑さ指数)は、日本生気象学会「日常における熱中症予防指針」による指数で、警戒等の分類は日常生活上での基準であり、労働の場ではさらに大きくなると思われる。